

2019年10月7日
NPO法人取手アートプロジェクトオフィス

東京藝術大学取手校地にて、アートプロジェクト 「ウィークエンド藝大食堂」 始動

キックオフにはヤギも来校？ 芸術家と開拓する週末プログラム



取手アートプロジェクト（実行委員会：取手市、東京藝術大学、NPO法人取手アートプロジェクトオフィスほか市民団体）は、2019年10月より東京藝術大学取手校地内「藝大食堂」を拠点に週末のアートプロジェクトをスタートします。

1999年に立ち上がった取手アートプロジェクトは、今年で20周年。まちなかをつかったフェスティバル型活動と通年型プログラムの実践を経て、茨城県取手市という「郊外」における文化芸術のあり方や役割を実践とともに考察し発信しています。

2017年には、東京藝術大学取手校地に《半農半芸》の理念を据えた「藝大食堂」をオープン。食の提供を土台としつつ、芸術家や市民のつくること・生きることを支える活動の企画・運営に着手しました。

いよいよ今年度より、芸術家、市民、研究者、教育者などが、好奇心で集う活動の舞台として、週末に藝大食堂をひらき、年間を通して3つのプログラムが動きます。

※ 本取り組みは、2019-2021年度 取手アートプロジェクト20周年・取手市制50周年・藝大取手校地30周年事業として始動します。
※ 「藝大食堂」は、取手アートプロジェクトオフィスが東京藝術大学より委託を受けて活動しています。

3つのプログラム

1) 耕すプロジェクト

《半農半芸》ディレクターと藝大食堂統括ディレクターを務める岩間賢を中心に取手校地の豊かな里山環境を活用し、動植物を育てながら、集う。遊ぶ。学ぶ。「アーツ・フィールド」を若い芸術家や市民らとともにつくります。今年度は誰でも参加可能な「耕す人チーム」を結成し、定期活動を積み重ね活動の歳時記づくりを始めます。



10月13日 最初の鋤入れ

11月24日 ヤギを迎える会

月1回程度の定期活動

春 耕す

《半農半芸》とは・・・

取手アートプロジェクトのコアプログラム。自然の要素を表現の軸に据えたアーティストたちとともに、生きることの根幹である衣食住の新しい価値を体を動かしながら創る試みです。

2) すごし方研究室

多様な人が思い思いにすごす、消費的でない芸術文化の場のあり方を探る実験として、まず藝大食堂と取手校地で週末に「すごしてみる」きっかけをつくり、発信します。おのこの「すごし方」は蓄積されオープンアーカイブとなります。

学生の展示に合わせて、カフェを開く**藝大ですごす日**。芸術家とあれこれ実験する**くらしの研究会**。さまざまなすごし方が試せる**すごす日Fes**も予定しています。

10-11月 藝大ですごす日

1月 ぐらしの研究会

3月 すごす日Fes

3) 藝大ファクトリーラボ連携プログラム



東京藝術大学の専門工房群の研究・技術・設備を活用して様々なプロジェクトを行う藝大ファクトリーラボと連携して「藝大食堂」で行う一味違うものづくりプログラム。今年度は「紙からつくる大空凧プロジェクト」です。芸術家と一緒に楮(こうぞ)の加工から紙すき、凧作りを経て凧あげ大会に出場します。詳しくはTAPウェブサイトへ！(後述)

藝大ファクトリーラボ公式ウェブサイト：

<https://geidai-factory.art/>

キックオフイベント

【1】キックオフ～最初の鍬入れ

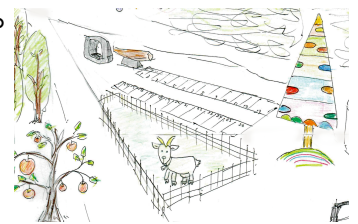
TAP《半農半芸》ディレクターであるアーティスト岩間賢がプロジェクトの展望を語り、集まった市民と最初の協働作業として草刈りや鍬入れを行います。

- (1) 日時 令和元年10月13日(日) 9:00～13:00
 - (2) 会場 藝大食堂(茨城県取手市小文間5000)
 - (3) プログラム
 - 9:00～ 参加者集合、ガイダンス
 - 9:30～ 草刈りなど環境整備活動
 - 11:30～ 鍬入れセレモニー フォトセッション
 - 12:00～ 参加者で青空ごはん
 - (4) 活動メンバー 岩間賢(ディレクター)、市民、芸大生ほか15名程度
- ※一般非公開、雨天は内容を一部変えて決行

【2】ヤギを迎えてちょっと先の未来を思い浮かべる会

環境整備の先に、藝大でヤギを飼うプランを数年あたためています。トライアルとして1日ヤギをゲストとして招き、写生大会や勉強会を行います。

- (1) 日時 令和元年11月24日(日) 13:00～16:00
 - (2) 会場 藝大食堂(茨城県取手市小文間5000)
 - (3) プログラム
 - 13:00～本日のゲスト・ヤギ登場
 - 13:15～ヤギの目で?取手校地を佐野博士と雑草フィールドワーク
 - 14:00～小沢さんとヤギのいる風景スケッチ大会 参加費:500円 ※申込優先
 - 15:00～安江先生のヤギレクチャー 参加費:無料 ※申込優先
 - 15:30～ヤギにまつわるおやつタイム&ヤギトーク
 - (4) 活動メンバー 岩間賢(ディレクター)、小沢剛(アーティスト)、佐野成範(雑草学)、安江健(家畜行動学(ヤギ))、市民、芸大生など60名程度
- ※一般公開、雨天は内容を一部変えて決行



藝大食堂Information



住所 : 茨城県取手市小文間 5000番
東京藝術大学取手校地福利施設内
施設開館時間: 10:00-18:00
ランチ営業 : 11:30-14:00
カフェ・売店: 10:00-18:00
定休日 : 土日祝・大学の休校日
ウェブサイト: <http://geidaishokudo.com/>

※食堂は、一般の方もご利用いただけます。

※ウィークエンド藝大食堂プログラム実施日は特別営業します。

パートナー アーティスト・リサーチャー



岩間賢 美術家・TAP半農半芸ディレクター

場と人との対話を生み、風土や自己を問い直す作品を多数制作。東京藝術大学美術学部後記博士課程終了後、文化庁芸術家在外研修員として中国にて創作研究を行う。近年では中国ビエンナーレ参加や、中房総国際芸術祭で「月出工舎」ディレクターを務めるなど、地方の地域づくりにも関わっている。東京藝術大学油画専攻博士課程修了。現在、愛知県立芸術大学美術学部美術科油画専攻准教授。



小沢剛 現代美術作家 東京藝術大学美術学部教授

1965年東京生まれ。東京藝術大学在学中から、風景の中に自作の地蔵を建立し、写真に収める《地蔵建立》を開始。93年から牛乳箱を用いた超小型移動式ギャラリー《なすび画廊》や《相談芸術》を始める。99年には日本美術史の名作を醤油でリメイクした《醤油画資料館》を制作。2001年より女性が野菜で出来た武器を持つポートレート写真のシリーズ《ベジタブル・ウェポン》を制作。ユーモアを交えた軽妙なスタイルで、環境や平和などのメッセージを、自由な発想で作品化する。



安江 健 茨城大学農学部教授

1964年大阪府生まれ。1994年北海道大学大学院農学研究科博士課程修了。同年、茨城大学農学部助手として採用され、2014年より同教授。専門分野は畜産学であり、特に家畜行動学・管理学を専門にしている。中でも放牧家畜の行動・管理学が学生時代からの専門で、近年はもっぱらヤギを研究対象としている。主な著書：動物の飼育管理（文永堂出版：2017）、ヒツジの科学（朝倉書店：2015）、ヤギの科学（朝倉書店：2014）、他

取手アートプロジェクトとは



取手アートプロジェクト（TAP=Toride Art Project）は、1999年より市民と取手市、東京芸術大学の三者が共同でおこなっているアートプロジェクトです。芸術による文化都市を目指す取手のまちをフィールドとして、アーティストの活動支援と、市民の芸術体験・創造活動の仕組みづくりにより、芸術表現を通じた新しい価値観の創造を目指して活動しています。

公式ウェブサイト：<https://toride-ap.gr.jp/>

本リリースに関するメディアお問い合わせ先

NPO法人 取手アートプロジェクトオフィス 担当：瀧口、羽原

TEL:0297-84-1874(受付は火・金13:00-17:00)/090-8693-9961(担当者直通) FAX:0297-84-1875

返信表 送信先：(FAX)0297-84-1875 (E-mail) tap-info@toride-ap.gr.jp

ご取材にお越しいただける場合は、FAXまたはメールにてご返信ください。

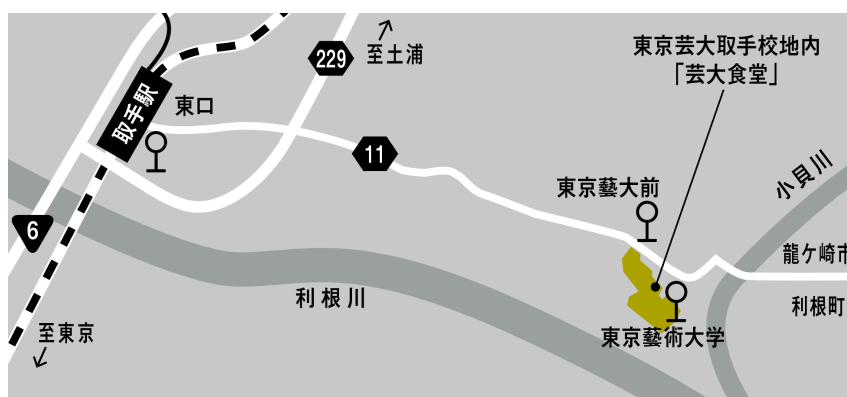
☐ 10/13(土)最初の鞆入れご出席:10/10(木)17:00〆切

☐ 11/24(日)ヤギの会ご出席:11/20(水)17:00〆切

* ご出席をご希望の日程に☑をお願いいたします。

代表者氏名		ご取材人数	
媒体名		TEL	
貴社名/部署名		MAIL	
ご取材人数		FAX	
撮影方法	スチール ムービー	露出予定日	
参加希望時間・ ご要望・ご質問 など			

ご来場のご案内



住所：
茨城県取手市小文間 5000番

公共交通機関でお越しの場合：JR
常磐線「取手駅」東口から大利根
交通バスで約15分（約5.9km）
→平日：「東京藝術大学」下車。
→休日：「東京芸大前」下車。

- ☐ 無料駐車場あり。
- ☐ 開始30分以上前のご来場はお避けください。
- ☐ 雨天決行ですが、荒天の場合ヤギが来校できなくなる可能性があります。
- ☐ プログラム内容は予告なく変更になる場合があります。
- ☐ 青空ごはん・ヤギおやつをご希望の場合はご要望欄にコメントをお願いいたします。（500円程度料金を頂戴します）